

■ 水稲

県全体の出穂盛期は8月1日で、平年に比べて3日早まりました。9月前半の気温も平年より高くなる見込みです。高温が続いた場合、登熟が進み、刈取り適期が早まる可能性があります。

刈り遅れは、「胴割粒」「奇形粒」「茶米」が急増し、品質低下に繋がります。籾水分と青籾歩合を確認し、適期に刈り取りを行いましょう。

▶ 適期刈取り

刈取り適期は、出穂後からの積算気温を目安に、枝梗の黄化、青籾歩合、籾水分、倒伏程度などを加味して総合的に判断しましょう。

★刈取り適期目安（平坦部）

品種	※刈取り適期 出穂後積算気温の範囲	刈初めの 青籾歩合	籾水分
はえぬき	900～1,150℃	20%	25%以下
雪若丸	900～1,150℃	20%	
つや姫	950～1,150℃	15%	



※刈取り適期（出穂後積算気温）を予測できる「スマートつや姫」を下記で紹介いたします！

刈り遅れると胴割粒、奇形粒、茶米等が急激に増加するとともに、光沢が劣ることで外観品質が低下し、さらに食味も低下しやすくなります。刈取り適期晩限まで収穫を終えられるようにしましょう。なお、水口で青立ちが多い箇所や倒伏、病害虫の被害の大きい箇所は、別刈りし、未熟粒や被害粒の混入による品質低下を防止しましょう。



毎年、収穫期にコンバインによる事故が発生しています！！
圃場侵入時や後退時は転落・転倒に注意し、詰まり除去時は
必ずエンジンを止めて対処するなど事故防止に努めましょう！！

★作業適期を予測してくれる **AgriLook「スマートつや姫」** を使ってみませんか？

圃場ごとの刈取り等の作業適期を予測することができます！

「スマートつや姫」の作業適期予測結果（例）

品種	: つや姫	予測実行
移植日	: 2025/05/15	
苗の葉齢	: 2.5 枚	
8月20日現在の生育ステージ		11.4葉期頃 出穂後17日頃
管理・生育ステージ		作業適期の 予測結果
落水(出穂後30日以降)		9/2頃
刈取適期 ※高温登熟年のため適期の前倒し		—
刈取開始(出穂後積算気温1000℃)		9/12頃
刈取晩限(出穂後積算気温1200℃)		9/21頃

① マップから予測診断したい圃場をタップ

② 「品種」「移植日」「苗の葉齢」を入力し、
「予測実行」をタップ

③ 作業適期を予測！

AgriLook モバイル版



I D : murayama

P A S S : murayama123

左のQRコードからHPにアクセスできます。

IDとパスワードを入力してログインしてください。

つや姫、雪若丸、はえぬき、コシヒカリ、ひとめぼれ、
あきたこまちの6品種に対応しています！

ぜひご活用ください！！

■ 果樹

▶りんご「つがる」の収穫について

地色の抜けと果肉硬度を重視し、数回に分けてこまめに収穫しましょう。高温の影響で着色の進みが遅く果肉軟化が先行する場合は、収穫遅れにならないよう着色にとらわれず、収穫しましょう。

▶りんご落果防止について

土壌水分が少ない園地や乾燥が続いた場合、
収穫前に落果してしまう恐れがあります！
落果防止剤の効果を高めるため、散布前に「**灌水**」を実施しましょう！！

灌水量：樹冠下に1回 200～300 ℓ / 樹程度灌水し、収穫までに1樹当たり計1 tを目安として、2～3回に分けて灌水します。

なお、落果防止剤は単用での散布を基本とし、薬剤の特徴や登録内容を確認して使用しましょう。

※落果防止剤の使用については「JAてんどう病害虫防除暦」をご参照ください。

▶基肥の施肥

果樹の基肥は、根が活動している9～10月に施用しますが、当年の果実品質等に影響を及ぼさないように、西洋なし「ラ・フランス」は収穫直後、りんご「ふじ」は10月中旬頃に施用する。また、さくらんぼの基肥は、9月上中旬までに行いましょう。

なお、有機質主体の緩効性肥料を用いる場合は、分解・溶出される期間を考慮し、2週間程度早めに施用しましょう。

※施肥については「JAてんどう施肥設計書」をご参照ください。